

## 2020年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日 時：2020年5月19日(火) 18:00～19:32

場 所：聖路加国際大学 Web(Zoom)会議

議 長：片岡 弥恵子(委員長)

出席委員：片岡 弥恵子、鈴木 美穂、鶴若 麻理、小野 若菜子、小林 京子、縄 秀志、高橋 奈津子  
青木 美紀子、大久保 暢子、川上千春、小山田 恭子、中田 諭、木下 康仁、竹森 志穂、蛭田 明子  
山田 雅子、中山 昌明、中村 めぐみ、墨岡 亮、神里 彩子、横瀬 利枝子

欠席委員：なし

(出席者 21人をもって、委員会の成立)

### 1. 審議事項:新規申請(本審査) 司会:委員長 片岡 弥恵子

#### ① 原田 智世 (老年看護学 修士)

「肺がん高齢療養者を対象とした在宅モニタリングに基づくテレナーシングにおける症状の変化と利用者の経験」

研究責任者(原田氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

#### ② 岡津 愛子 (助産学 博士)

「不安障害のリスクを有する妊婦に対する認知行動療法を活用した介入プログラムの開発と有効性の検討：パイロットランダム化比較試験」

研究責任者(岡津氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

#### ③ 川原 佳代 (慢性期看護学・がん看護学・緩和ケア 博士)

「末期心不全患者の治療や療養場所の選択に関する意思決定プロセス」

研究責任者(川原氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

### 2. 審議事項:その他の本審査

委員長より、審議事項(添付資料参照)について説明が行われた。

委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により、承認となった。

### 3. 報告事項:新規申請の承認報告

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、添付資料の通り報告された。

### 4. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、その他の報告

既に承認されている研究について、添付資料の通り報告された。

#### 5. 委員長からの報告、連絡事項、検討事項

- ① 今月の審議に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 2019年度9月の研究倫理審査委員会議事録の内容について確認がされ、承認となった。

#### 6. 事務局からの報告、連絡事項

- ① 症例報告用 研究計画書・説明同意文書のフォーマット作成について、案内がされた。

#### 8. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2020年6月16日 18:00～ (Zoon会議 又は大学 本館 PCルーム)にて開催。

## 1.新規申請(本審査)(2020/5/19審査分)

審査種類	承認番号	課題名	所属	職名	氏名	判定
本審査	20-A013	肺がん高齢療養者を対象とした在宅モニタリングに基づくテレナーシングにおける症状の変化と利用者の経験	老年看護学	修士	原田 智世	条件付承認
本審査	20-A012	不安障害のリスクを有する妊婦に対する認知行動療法を活用した介入プログラムの開発と有効性の検討:パイロットランダム化比較試験	助産学	博士	岡津 愛子	条件付承認
本審査	20-A014	末期心不全患者の治療や療養場所の選択に関する意思決定プロセス	慢性期看護学・がん看護学・緩和ケア	博士	川原 佳代	条件付承認

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において審議を行い、判定いたしました。

2020年 5月 19日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

## 2.審議事項:その他の本審査(2020/5/19審査分)

審査種類	承認番号	課題名	所属	職名	氏名	判定
継続	16-A079	慢性疾患在宅療養者のヘルスリテラシーを向上する患者参加型テレナーシングシステムの開発と混合研究法による評価	老年看護学	教授	亀井 智子	承認
継続	17-A069	聖路加国際大学大学院修士課程特別講義「チームビルディング」履修者におけるアドベンチャーリーダーシッププログラム参加前後のチームビルディング意識の変化とチームアプローチ評価尺度の開発	老年看護学	教授	亀井 智子	承認
継続	18-A074	混合研究法を用いた看護研究支援ツール(m-STAR-21)の妥当性の検討	老年看護学	教授	亀井 智子	承認
継続	18-A077	陣痛促進剤の使用量による母乳育児および内因性オキシトシンへの影響: コホート研究	助産学	客員研究員	高畑 香織	承認
継続	18-A078	インドネシアの妊娠中の女性の家庭内受動喫煙を予防する、コミック教材を用いた介入の効果: ランダム化比較試験	国際看護学	博士	稲岡 希実子	承認
継続	18-A097	妊娠後期からの継続したアロマセラピーが精神状態に及ぼす影響: パイロットスタディ	助産学	客員研究員	高畑 香織	承認
継続	19-A012	ろう者の妊娠出産産褥早期の体験 —医療従事者との関わりの場面を中心に—	助産学	修士	飯島 聖香	承認
継続	19-A024	がんゲノム医療中核拠点病院におけるがん遺伝子パネル検査をめぐる看護職の役割と課題	遺伝看護学	准教授	青木 美紀子	承認
継続	19-A027	子どもの末梢静脈ライン留置処置に係る「ファミリーセンタードケア」の具体的実践内容、および「ファミリーセンタードケア」を促進する看護管理	看護管理学	博士	相澤 恵子	承認
継続	19-A032	全国の産科施設における社会的ハイリスク妊婦への支援体制に関する研究	助産学	修士	大塚 公美子	承認
継続	19-A044	Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation使用患者のリハビリテーションにおける急性・重症患者看護専門看護師の臨床判断と看護実践	急性期看護学	修士	長崎 祐士	承認
継続	19-A045	東京都の私立小学校、私立中学校、私立高等学校の自然災害対策の実態とその養護教諭の役割認識～学校の安全管理者と養護教諭の質問紙調査～	公衆衛生看護学	修士	八十濱 希恵	承認

継続	17-A024	外国にルーツを持つ子供のリプロティブヘルス向上のための教育プログラムの開発	助産学	准教授	五十嵐 ゆかり	承認
継続	18-A096	外来で経口抗がん薬治療を受ける高齢者の副作用を予防する多職種連携ケアプロトコルの実装	聖路加国際大学博士 後期課程DNPコース	博士後期課程	小山 美樹	承認
継続	19-A034	看護師の子ども虐待・マルトリートメントのアセスメントのプロセス	小児看護学	教授	小林 京子	承認
継続	19-A066	入院中の子どもの家族の生活と支援に関する実態調査	小児看護学	教授	小林 京子	承認

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において審議を行い、判定いたしました。

2020年 5月 19日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

## 3.報告事項:新規申請の承認報告(2020/4/14~2020/5/11審査分)

承認番号	課題名	所属	職名	氏名	判定
19-A095	がん患者に対するアドバンス・ケア・プランニングの定着を目指した実装	慢性期看護学・がん看護学・緩和ケア	博士	尾形 由貴子	承認
20-A003	診断後早期からがん看護専門看護師が介入した進行臓器がん患者への介入の現状と課題の分析(後方視的診療録調査)	がん看護学・緩和ケア	博士	中野 真理子	承認
20-A004	新卒訪問看護師が安心して就職できる事業所要件に関する内容妥当性の検討	在宅看護学	教授	山田 雅子	承認
20-A005	市民の健康情報を入手し、理解する力の向上をめざした「短縮版:ヘルスリテラシー講座」の評価	看護技術・基礎看護学	准教授	高橋 恵子	承認
20-A006	倫理的視点で話し合える看護師を育成する倫理教育プログラムの検討:教育担当者への質問紙調査から	生命倫理	准教授	鶴若 麻理	承認
20-A007	病院看護部における倫理教育プログラムの研究—インタビュー調査を通して—	生命倫理	准教授	鶴若 麻理	承認
20-A010	脳神経外科病棟看護師の解剖生理学を活用した看護実践における思考過程の検討	ニューロサイエンス看護学	博士	安田 みなみ	承認

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において報告を行い、確認いたしました。

2020年 5月 19日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

## 4.報告事項:既承認研究の軽微な変更、その他の報告(2020/4/14~2020/5/11審査分)

審査種類	承認番号	課題名	所属	職名	氏名	判定
変更申請	16-A079	慢性疾患在宅療養者のヘルスリテラシーを向上する患者参加型テレナーシングシステムの開発と混合研究法による評価	老年看護学	教授	亀井 智子	承認
変更申請	17-A024	外国にルーツを持つ子供のリプロティブヘルス向上のための教育プログラムの開発	助産学	准教授	五十嵐 ゆかり	承認
変更申請	19-A012	ろう者の妊娠出産産褥早期の体験 —医療従事者との関わりの場面を中心に—	助産学	修士	飯島 聖香	承認
変更申請	19-A093	End-of-Lifeにあるがんの子どもと親のHOPEの軌跡: M-GTAによる理論の生成	小児看護学	博士	平田 美佳	承認
変更申請	19-A096	専門職が認識する第2子妊娠中から出産後における経産婦のもつ困難性	助産学	博士	森山 希	承認
終了報告	18-A082	日常場面の子育て世代・高齢世代交流 分析による多世代共生モデルの開発	小児看護学	教授	小林 京子	
終了報告	19-A031	都市部の大規模病院で子育てのために短時間勤務をする同僚と働く看護職の業務認識に影響する要因	ウィメンズヘルス	博士	田中 由美子	
終了報告	19-A042	助産師だからこそできる性教育とは	ウィメンズヘルス	修士	國光 なな子	

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において報告を行い、確認いたしました。

2020年 5月 19日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子